

学校運営協議会 議事録

学校名	大阪府立大阪南視覚支援学校
校長名	郡司 弘子

開催日時	令和5年12月5日（火） 10:00 ～ 11:40
開催場所	府立大阪南視覚支援学校 会議室
出席者（委員）	委員5名
出席者（学校）	校長、教頭2名、事務部長、課長補佐、首席4名、部主事4名、教務部長1名
傍聴者	なし
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回学校運営協議会 次第 (資料0) ・ 当日の授業時間割 (資料1) ・ 令和6年度 学級編制について (資料2) ・ 令和5年度第1回学校運営協議会議事録 (資料3)
備考	

議題等（次第順）
<p>(1) 授業見学について</p> <p>(2) その他</p>
協議内容・承認事項等（意見の概要）
<p>【協議題】</p> <p>(1) 授業見学について（委員から感想や意見など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達の多様化に対応してスヌーズレンや休憩スペースについて整えているのがよかった。 ・ 手厚い支援を行っている。 ・ 拡大文字を白黒反転した提示方法など、それぞれの視覚障がい状況に応じた支援が行われている。 ・ 医療的ケアが必要な子どもも在籍しており、保護者が送迎しているということなので、府の通学支援事業の活用についても検討してほしい。 <p>【報告題】</p> <p>(1) 令和5年度 就学相談や学校見学会の状況等について</p> <p>教務部長：来年度の学級数について、今年度と比べ幼稚部は1減、小学部は変化なし、中学部は2減、高等部は1増、専修部は変化なしで、全体では2学級減となる見込みである。</p> <p>(2) 学校行事、各学部の概況について</p> <p>幼小小学部主事：幼稚部は2学期行事にむけて取り組み、集団として成長を重ねてきた。外部に進学予定の幼児は、単眼鏡や拡大読書器を使えるようになってほしいため、遊びの中で便利さを経験している。次年度の3歳児の入学は少なくなる見込み。小学部は文化祭で舞台と模擬店を行った。</p>

子どもどうしが話し合ったり、協力したりする様子が見られ、いい活動になった。発達段階が多様化しているが、子どもどうしの直接的なかかわりもたくさんみられた。児童一人ひとりの支援を合わせていくために、教員のスタンスをそろえることを頑張っている。

中学部主事：2学期は行事が多く、重度重複生徒にとって、生活を送るうえで難しい一面もあった。全国フロアバレーボール大会に中学部の生徒も出場した。仲間と自分を信じることで全国3連覇を達成し、生徒は自分自身に自信をもつことができた。3年生は修学旅行で淡路島に、1・2年生は泉南ロングパークに行き、日常ではできない体験をし、仲間との絆が深まった。施設見学作業体験ではコロナ前にもどっていろいろな場所に行き、体験ができた。来年度の入学予定は外部から1人である。

高等部主事：文化祭では音楽劇、模擬店を行った。音楽劇「よ」で漫才、ラップを披露した。模擬店はチヂミを作り、材料、費用、CMなどを考え、いきいきと取り組んでいた。S君の全国弁論では「無意識の壁」という題で、障がい者との壁は自分たちが無意識に作ったものなので自分たちで壊すことができるということを語った。3年生は事業所、大学、専修部などの進路に向けて活動し、卒業に向けた準備を進めている。休み時間は学年をこえていろいろなクラスで交流があり、休み時間を通じて学校生活の楽しい思い出を作してほしい。

専修部主事：4月から在籍者は34人で推移している。2学期は各科とも模擬試験を行い、結果を踏まえた課題を行い、国家試験合格をめざしている。部活動ではフロアバレーボール、ゴールボールが好成績を残している。弦楽器部は校内演奏会を行い、音楽研究部は文化祭で発表を行った。進路については11月に理学療法科で1人病院内定が決まった。保健医療科はヘルスキーパー関係の面接日を調整している段階である。この流れを継続し、国家試験全員合格と就職を願っている。

(3) 学校経営計画及び学校の評価の取り組み進捗状況について

首席：学校経営推進費の進捗状況として、重複PTを通して、1階エントランス柱に貼る素材の選定、2階の屋上にある立ち上げ式の畑と車いすスペース、3階の多目的室のバブルタワーとジュピターの紹介があった。研修関係では、筑波大学の佐島先生によるZoom研修を行った。筑波大学附属視覚特別支援学校に見学に行った。空間探索セットが届いていますので、今後校内で周知予定である。

(4) その他

特になし

次回の会議日程

日時	令和6年2月下旬を予定
場所	府立大阪南視覚支援学校 会議室